

## 第2回「しがwebアンケート調査(文化)」の結果について

### 1. 調査の目的

県政における喫緊の課題や重要事項について、インターネットを活用し適時迅速に県民の意識や意向を調査し、速やかに県の方針や県政運営に反映させるための基礎資料とする。

### 2. 調査の概要

- (1) 調査対象 県内在住の満 18 歳以上の個人
- (2) 標本数 500 人
- (3) 調査方法 インターネットを利用し、パソコン、スマホ等により回答するWEB調査
- (4) 調査期間 令和2年7月 10 日(金)～ 7月 19 日(日)
- (5) 調査会社 株式会社クロス・マーケティング

### 3. 調査項目

- (1) 「文化芸術」について(文化芸術振興課)
- (2) 「安土城」について(文化財保護課)

### 4. 主な調査結果

#### (1)「文化芸術」について

Q1 この1年間に、文化施設等実際に外出して直接鑑賞した文化芸術は何ですか。(いくつでも)

- 1 位:歴史文化(歴史的な建造物・町並み・風景、文化財など) 23.2%
- 2 位:音楽(歌唱、楽器の演奏、作曲など) 20.6%
- 3 位:美術(絵画、彫刻、書、工芸など) 20.2%

- ・「特にない」[46.4%]を除いた、上位 3 項目は上記のとおりである。続いて、「まつりや地域の伝統行事」[18.4%]、「メディア芸術(映画、アニメーションなど)」[15.2%]の回答が多かった。
- ・年代別で見ると、1 位は、18～34 歳では「音楽」、その他の年代では「歴史文化」であった。
- ・「特にない」は、18～34 歳[55.9%]と 65 歳以上[36.9%]で大きな差が見られ、直接鑑賞の機会に年代間で差があることがわかった。

Q2 この1年間に、テレビやパソコン等の電子機器により鑑賞した文化芸術は何ですか。(いくつでも)

- 1 位:音楽(歌唱、楽器の演奏、作曲など) 32.2%
- 2 位:メディア芸術(映画、アニメーションなど) 22.0%
- 3 位:歴史文化(歴史的な建造物・町並み・風景、文化財など) 18.4%

- ・「特にない」[44.6%]を除いた、上位 3 項目は上記のとおりである。続いて、「写真」[15.2%]、「演芸(落語、漫才、浪曲など)」[14.0%]の回答が多かった。
- ・年代別で見ると、1 位は、どの年代においても「音楽」であった。また、2 位は、65 歳以上では「歴史文化」、その他の年代では「メディア芸術」であった。
- ・「特にない」は、18～34 歳[45.2%]、65 歳以上[44.6%]となり、Q1で見られたような年代間の差は見られなかった。

Q3 普段の生活において、文化芸術(創作・鑑賞)に、いつ、どのような場面で親しんでいますか。(いくつでも)

- 1 位:日中または休日に、自宅にて 34.0%
- 2 位:夜に、自宅にて 30.2%
- 3 位:日中または休日に、文化教室や公民館等の人が集まる場所にて 11.6%

- ・自宅にて文化芸術に親しむ県民が多い一方で、「親しむ機会がない」[41.8%]の回答も多くあつ

た。

- ・年代別で見ると、1位は、35～49歳では「夜に、自宅にて」、その他の年代では「日中または休日に、自宅にて」であった。
- ・「通勤や通学等の移動中(スマートフォンや携帯型機器で音楽を聴くなど)」は、年代が下がるほど割合が高くなる傾向が見られた。一方で、「日中または休日に、文化教室や公民館等の人が集まる場所にて」は、年代が上がるほど割合が高くなる傾向が見られた。

Q4 新型コロナウイルス感染症の発生により、文化芸術に親しむ機会にどのような影響がありましたか。(いくつでも)

- 1位:地域行事(まつりなど)が中止になった 33.4%
- 2位:鑑賞を予定していたイベント(展覧会、演劇、音楽会、映画など)が中止になった 23.8%
- 3位:歴史探訪や名勝地への訪問ができなくなった 20.4%
- ・「特に影響は出ていない」45.8%を除いた、上位3項目は上記のとおりであり、文化芸術の鑑賞や訪問の機会が多く失われている。
- ・年代別で見ると、1位は、どの年代においても「地域行事(まつりなど)が中止になった」であった。
- ・「特に影響は出ていない」は、年代が上がるほど割合が低くなっており、高齢者の方が文化芸術に親しむ機会に影響を受けていることがわかる。

Q5 新型コロナウイルス感染症により活動の制限がある中で、文化芸術にどのように親しみたいですか。(いくつでも)

- 1位:自宅内や一人で行える方法で親しみたい 38.0%
- 2位:感染症対策のもと、文化芸術に親しめる新しい方法を考えたい 16.6%
- 3位:感染症が収まるまで、文化芸術に親しむことは控えたい 16.0%
- ・「自宅内や一人で行える方法で親しみたい」の回答が特に多く、2位の「新しい方法を考えたい」と3位の「親しむことは控えたい」は拮抗している。
- ・年代別で見ると、1位は、どの年代においても「自宅内や一人で行える方法で親しみたい」であった。また、2位は、18～34歳では「『3密』などに配慮しながら、複数人で活動や交流をおこないたい」、35歳～49歳では「感染症対策のもと、文化芸術に親しめる新しい方法を考えたい」と、文化芸術に親しむ項目であったのに対し、50～64歳および65歳以上では「感染症が収まるまで、文化芸術に親しむことは控えたい」となった。
- ・65歳以上では、「今は、文化芸術に親しむ気持ちや余裕はない」が、その他の年代に比べて高かった。

Q6 文化芸術の魅力や力を、どのような分野で特に活かすべきですか。(3つまで)

- 1位:観光(歴史や芸術を利用した観光地づくりなど) 29.2%
- 2位:教育(文化芸術に親しむことによる、子どもの創造性や感性の向上など) 25.2%
- 3位:福祉(音楽療法等による心のケアや健康増進など) 16.4%
- ・「わからない」[42.6%]を除いた、上位3項目は上記のとおりである。「観光」や「教育」への活用を求める回答が多かった。
- ・年代別で見ると、どの年代においても1位は「観光」、2位は「教育」(35～49歳では、両項目は同率で1位)であった。また、18～34歳では「子育て(親子コンサート等による育児環境の向上など)」が他の年代に比べて特に高く、65歳以上では「産業(伝統工芸や伝承技術による産業振興など)」が他の年代に比べて特に高かった。

(2)「安土城」について

Q7 あなたはどのようなところに安土城の魅力を感じますか。(いくつでも)

- 1位:織田信長の居城であったという歴史 65.4%
- 2位:現地に残る石垣や石段など城跡の遺構 47.6%

3位:安土山の自然環境 29.2%

- ・年代別にみても、各年代おしなべて城の歴史に魅力を感じ人が多く、それにつづいて城自体に魅力を感じる人が多い。安土城については歴史遺産として認識されていることを示している。
- ・歴史に比べると少ないが、安土山の自然に魅力を感じる人も各年代3割前後存在する。

Q8 安土城跡の整備についてどのように思いますか。

1位:最低限の修景・修復にとどめ、積極的な整備を行わない 29.6%

2位:建物復元を進めていく 24.2%

3位:石垣や石段の復元など、遺構の整備を進めていく 23.2%

- ・アンケート結果からは、安土城の現状維持を基本に考えている人が最も多いが、建物復元を望む声も同程度存在し、何も手を付けないとする人も20%程見られるなど、特に一つの意見に集中するのではなく、同じくらいの人数に意見が分かれている。

Q9 安土城を復元するならば、どのような復元が望ましいと思いますか。

1位:現地での木造による忠実な実物復元 38.4%

2位:現地で外観のみ忠実に復元し、内部を展示施設等に活用する復元 24.4%

3位:現地での最新のデジタル技術(VR・AR等)を用いた復元 20.4%

- ・安土城の復元については、忠実な実物復元を望む声が各年代とも最も多い。他の設問と比べ、1位の回答への集中度が高い。

Q10 安土城跡の活用についてどのように思いますか。(いくつでも)

1位:観光資源として活用していく 78.2%

2位:学校教育・社会教育の場として活用していく 47.8%

- ・各年代とも観光資源として活用していくが最も多いが、18～34歳の若い年代では他の年代に比べて教育の場として活用していくの値が高く、観光資源として活用していくの値が低い。

いずれの設問も、回答が極端に偏ることなく、まんべんなく分布しており、安土城については、様々な意見が幅広く存在することがうかがえる。